

## ■ 中期計画キヤッチフレーズ

「おかげさま・やり甲斐・生き甲斐酪農8020」

## ■ 平成二十五年 度監事監査資料提出



### 一 平成二十五年 度事業報告の作成と監事への提出

理事会運営規則第七条の定めに従い、「平成二十五年 度事業報告書」を五月十三日(火)から実施の定例監査会に併せて監事への提出を決定した。

### 二 役員 の 補 欠 選 任

次回通常総会に理事一名の退任に伴う補欠選任を諮る必要から、その後任となる理事候補者一名を理事会で人選し、五月十九日開催の役員推薦会議に組合長が提案し、協議を委ねることを決定した。

### 三 子 会 社 に 株 式 配 当

子会社山陽乳業(株)は平成二十五年 度決算において株式復元を実現することから、株式配当の実現を目指した今後の取扱いを検討した。

### 四 第七次中期三 年 計 画 の 策 定 骨 子

▼第七次中期三 年 計 画 の 策 定 骨 子 を 協議し、事業計画収支、投資計画、要員計画、資金計画など平成二十六年 度事業計画・事業予算収支との整合を図る中で作成することを決定した。

▼キヤッチフレーズは「おかげさま・やり甲斐・生き甲斐酪農8020」。

八十歳で二十頭を飼養し、二十万円

の手取乳代が得られれば、それは「やり甲斐・生き甲斐」になるのではと示唆するもの。

▼この主な構成は「広酪組織体制のスリム化」、「組合員参画型の乳価交渉」、「集中的な組合員指導体制の確立」、「部門別取り組み」等とした。

### 五 平成二十六年 度事業計画・事業予算収支の策定骨子

▼第七次中期三 年 計 画 の 一 年 目 と し て 掲 げ る 取 組 事 項 を 中 心 に 整 理 す る こ と と し た。

▼策定骨子は①生乳受託販売体制と収支予算(案)策定の基礎数値、②平成二十六年 度 乳 価 引 き 上 げ 等 交 渉 へ の 積 極 的 な 行 動、③ 購 買 事 業 に お け る 広 酪 T M R 飼 料 の 利 用 拡 充 推 進 と 徹 底 指 導、④ 資 産 査 定 要 領 に 基 づ く リ ス ク の 高 い 対 象 者 へ の 対 応、⑤ 乳 質 改 善 へ の 積 極 的 取 組 み、⑥ 組 合 員 設 立 二 十 周 年 行 事 へ の 対 応 等 と し た。

第一回理事会を理事十名(二名欠席)、監事四名が出席し、次の八つの事項を協議し決定した。

## 六 中国生乳販連への酪農経営 収支概況調査結果の提出

去る三月二十七日付け文書で生乳出荷組合員に調査依頼した「平成二十四年分・平成二十五年度分農業経営(酪農経営)収支概況調査」について、提出を受けたのは五十八戸(一戸は未記入)で、この集計結果等をもって、乳価交渉の要求額を整理し、中国生乳販連に提出することを決定した。

## 八 平成二十六年年度牛群検定 事業に係る利用料金等の設定

利用料金と検定立会料金を改定し、この改定は平成二十六年四月一日に遡及し行うことを決定した。

## 七 平成二十六年年度酪農ヘルパー 事業に係る利用料金等の設定

### 一 利用料金の設定

▼組合員の内、酪農ヘルパー事業を利用する組合員の利用料金は、現行「据え置き」扱いとする。

▼一方、員外利用者に対する利用料金は、利用料金の他に別途負担金を求める。なお、別途負担を求める金額は、平成二十六年度四月に一括請求し速やかに徴収する。

### 二 委託料金の設定

▼委託料金を現行「据え置き」扱いとする。  
この変更は平成二十六年四月一日の派遣日から適用する。

### ■報告事項

- 一 子会社・山陽乳業(株)の経営状況
- 二 生乳需要期対応酪農経営向上対策事業「3M事業25」の事業完了と資金借入報告
- 三 みわTMRセンターにかかる資金借入と運用状況
- 四 平成二十五年年度・二十六年年度生乳生産実績等
- 五 平成二十五年年度衛生的乳質ペナルティの精算
- 六 平成二十五年年度中国生乳販連の会員別乳質状況
- 七 リース事業の事務取り次ぎ
- 八 リース取引による固定資産の賃貸借
- 九 今後の会議開催日程
- 十 T P P 決議を求める緊急県民集会への参加



日々徒然  
かがやき

▼四月二十四日、西日本酪農青年女性会議主催の第四十五回酪農経営発表大会に広酪メンバーズクラブの代表として出場された有限会社山延牧場の山延伊久江さんが最優秀賞に選ばれ、全国大会への切符を手に入れた。

▼当日は大会会場に「ときめき隊」の皆さんの手作り横断幕も持ち込まれ、応援にも力が入り、その一報が届けられた広酪本所事務所では職員から拍手が湧き上がった。

▼山延さんは「つながっていく大切さ」をテーマに発表され、三人で目指す酪農経営を軸に、牛乳の消費拡大と消費者交流、地域酪農の活性化への取り組み、女子会『ときめき隊』の活動等の『つながり』が自らの酪農経営の糧となっており、大切にしていきたい」と発信された。

▼山延さんは開催前日の深夜に地元消防団としての活動を終えられ、その後の当日会場入りとあつて、睡眠時間も殆どない中での遠方移動と大変ご苦労があったものと思う。これには大きな敬意と感謝を申し上げます。

▼広酪メンバーズクラブの事務局としてサポートにあたった職員

もそれを気遣い、他業務との業務調整を行いながら、これまで一緒に発表までの取材や資料収集、原稿やプレゼンデータの作成等、一つの目標を達成できた喜びと達成感、貴重な体験が得られたことへの感謝の気持ちを得られ、これも一つの大きな「つながり」になったものと思う。

▼事務局職員は本所帰着時には喜びの傍ら「直ぐに次がありますから・・・」と全国大会への意気込みをもって、更に気を引き締めていた。後にご家族からは「貴重な体験をさせて貰ってありがとう」との言葉を頂き、双方に実りある良い結果に結びついたことに感謝したい。

▼こうした発表大会は、他の酪農経営や体験発表の優良事例を通じて、自らの酪農経営に取り入れ、尚且つ酪農家同志の意見交流と仲間作りが出来ることにある。全国大会は七月十七日、十八日の両日、仙台で開催される。広島県代表、西日本代表として出場される山延伊久江さんには是非エールを送ってあげて下さい。

(T・Y)

